

## 子どもたちの環境問題への関心を拓く

地球環境問題が深刻化する中、長期的またグローバルな視点からの環境教育の重要さが認識されるようになってきた。こうした流れを受け、大阪ガスでは昨年春より、学校へのエネルギー・環境に関する講師派遣を強化している。

大阪ガスでは、これまでもガス科学館(大阪府高石市)や姫路ガスエネルギー館(兵庫県姫路市)において、校外学習施設として多くの児童・生徒にエネルギー環境教育を行ってきたのをはじめ、大人向けにも地域へ講師を派遣してセミナーを行ってきた。事務局となっているリビング事業部お客さま部の橋本純子さんは、「学年や習熟度によって学校に選んでいただけるよう、三つのセミナーを用意し、統一した教育体系を整えました」と説明する。

三つのセミナーは、次のような内容になっている。「エコ・エネルギーセミナー」は、地球温暖化問題について、生徒がグループごとに、くらしの中のエネルギー・クイズ」に答えるなど、クイズ形式で楽しみながら学習する受講者参加型プログラム。

「地球環境問題とエネルギーセミナー」は、環境問題の概要やエネルギーの使用と環境との関係、天然ガスやコージェネレーションシステムの環境性、身近なくらしの中での効率的な省エネルギーの方法を学習できる講義型プログラム。

### 現場レポート

多様なエネルギーを  
学び・活かす実践

# エネルギー事業者の立場から 子どもたちへの エネルギー環境教育を実施

大阪ガスのエネルギー環境教育(近畿2府4県)



授業の初めには、地球温暖化が深刻化し、私たちの暮らしに大きな影響を与えていることを写真で説明している



橋本さんが講師となり、普通に暮らすだけでもいろんなことでエネルギーを消費し、環境に負荷を与えていることを認識させている



大阪府枚方市の中学校の1年生を対象に行われた「地球にやさしいラーメンづくりセミナー」



色々な種類のインスタントラーメンやカップ麺を用意し、「どれが一番省エネルギーで、ゴミが少ないか」ということを課題に、班ごとに自由に選択できる



ラーメンは、鍋の種類・ふたの有無、水の量や温度、ガスの炎の大きさを選んで作って食べる。最終的なごみの量を計測し、実験の終わりに結果を発表する。思いがけない実験結果に、生徒たちから驚きの声があがることもある



子ども達を飽きさせず楽しく授業を進める橋本さん



ハンバーガーを食べる際に出る包み紙やジュースのカップなど、普段なら何気なく捨てているものが、エネルギーを消費する原因になっていることを知ることができる実験

「地球にやさしいラーメンづくりセミナー」は、「ラーメンを作って食べる」という実験から、日常の食生活の一つひとつが、どのような地球環境問題と関連しているかについて学べるとてもユニークな授業。すべての生活行動に関して、地球環境問題に配慮できる思考能力を養うことを目的とした受講者参加型プログラムである。

「地球環境を守るためには、一人ひとりが毎日のくらしの中で省エネルギーに取り組むことと地球にやさしいエネルギーを選択することが大切であることを伝え、今日からでもできる『地球にやさしいくらし方』を一緒に考えるように授業を行います。どこの学校でも最初はとまどいがちの子どもが多いのですが、授業が進むにつれ、自分たちの身近な話題だけに、次第に関心をもち、熱心に参加するようになってくれます。それだけに、エネルギー・環境教育の大切さを痛感しますね。これからも地道にこの活動を続けていきたいと思っています」

(橋本さん)

(文責・CEL編集室) CEL

### 大阪ガスのエネルギー環境教育

#### 【大阪市の小学校、中学校への出張授業連絡先】

その他の地域は各事業所のコミュニティ室(高校は環境部)が担当

大阪リビング営業部 コミュニティ室

〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37

TEL 06-6586-3208

HP:<http://www.osakagas.co.jp>からの申し込みも可能

(「お問合せ」「大阪ガスメール受付ページ」「エネルギー環境教育(啓発活動)」より申し込みが可能)



授業が進むにつれて、自分たちの生活と環境問題が密接に関係していることを理解した生徒たちの真剣な眼差しが印象的